

日弁連の政策実現を

弁政連釧路支部が発足

支部長に那知氏



弁政連の活動強化を話す那知支部長

釧路弁護士会に所属する弁護士が集まって、日本弁護士政治連盟釧路支部(発起人会代表・那知哲弁護士)の設立総会が26日、釧路全日空ホテ

ルで行われた。釧路支部は、釧路地裁管内の釧根、十勝、北網地区がエリアで、会員52人のうち45人が加入。支部長に那知氏、副

支部長に齋藤道俊氏、理事11人、監事2人を選任した。道内では札幌支部に次いで2番目の設立となる。

設立会見には、岩本勝彦弁政連副理事長、伊藤茂昭同幹事長、広報担当の西浄聖子氏らが出席した。支部の活動は、地元出身議員との懇談会、パーティーの開催。機関誌の発行。本部と支部の情報の共有。支部の活動の強化など。衆院選挙で推薦議員を決定する。伊藤幹事長は「日弁連の意見書や政策実現について、弁

政連支部や弁護士が一致協力して国会議員に訴えたい」と説明。これまでの活動では、司法制度改革の中にある簡裁の統合問題、裁判官の人数不足、地元の国会議員と連携した地域司法の充実。弁政連(日弁連)では、国選弁護報酬の増額、捜査の全過程の可視化(録音・録画)を国会要請している。国政選挙の推薦基準は、司法制度改革や裁判員制度、刑事弁護の充実、日弁連の政策に理解している人物で、与野党は問わない。すでに次期衆院選挙に70数人の推薦を決めている。今後、地方支部から推薦が上がりれば追加を検討するが、釧路支部では「将来の課題として、札幌支部と協議して考えたい」(那知支部長)としている。

(遠山美季男)